

令和 6（2024）年度

編入学・転入学

スポーツ文化専攻

小論文問題

（制限時間：1 時間）

次の各問いに 200 字程度（±20 字）で答えなさい。各設問 20 点満点とし、合計 100 点満点とします。各設問、回答が不適切、2 つ以上の誤字脱字があった場合や 21 字以上の文字数過不足の場合は、2 点ずつ減点します。

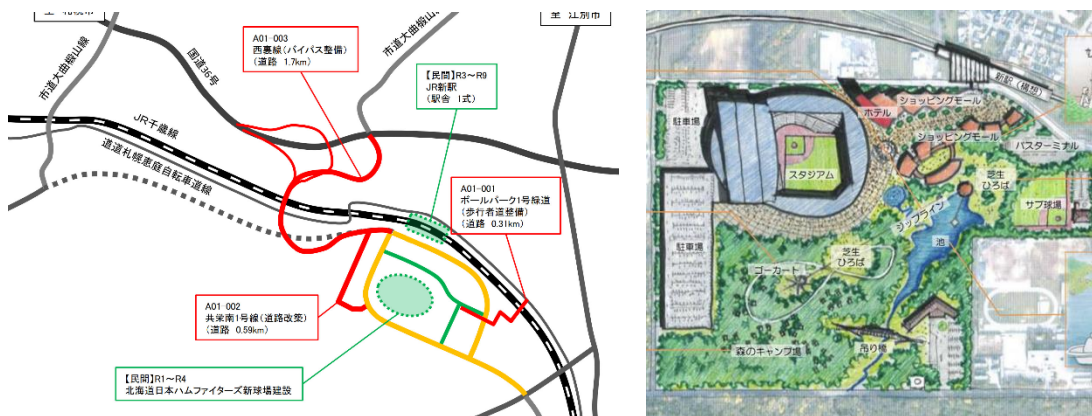
問 1. 次の文を読み、「サイバスロン」の今日的意義について、自分の考えを書きなさい。

ロボット工学あるいは機械工学全般を学んでいると、どうしてもマジョリティ（多数派）に受け入れられる汎用性のある製品開発に目を向けがちです。それがサイバスロンでは、身体に障害を持つ一人のパイロットのために、機体を開発することになる。それが学生たちに新しい価値観を開かせているのだと思います。そして、F1 がそうであるように、一人のパイロットのためにサイバスロン*を通じて培った技術が、スピニアウトして一般製品に応用されることが出てくると思います。

※ サイバスロンとは、コンピューターなどを意味するサイバーと競技を意味するアスロンをかけた造語。サイバスロンは、パラリンピックの「未来形」ともいえる。前述したように、パラリンピックは障害者のリハビリの一環として始まった。一方のサイバスロンは、障害者の日常生活のサポートに役立つ「技術開発の促進」に重点が置かれている。双方ともに障害者の QOL（生活の質）を上げることを目的に始まったが、まったく別の方向で発展している。

問 2. 「体罰」と「懲戒」、二つの言葉の違いを具体的な事例を取り上げて説明しなさい。

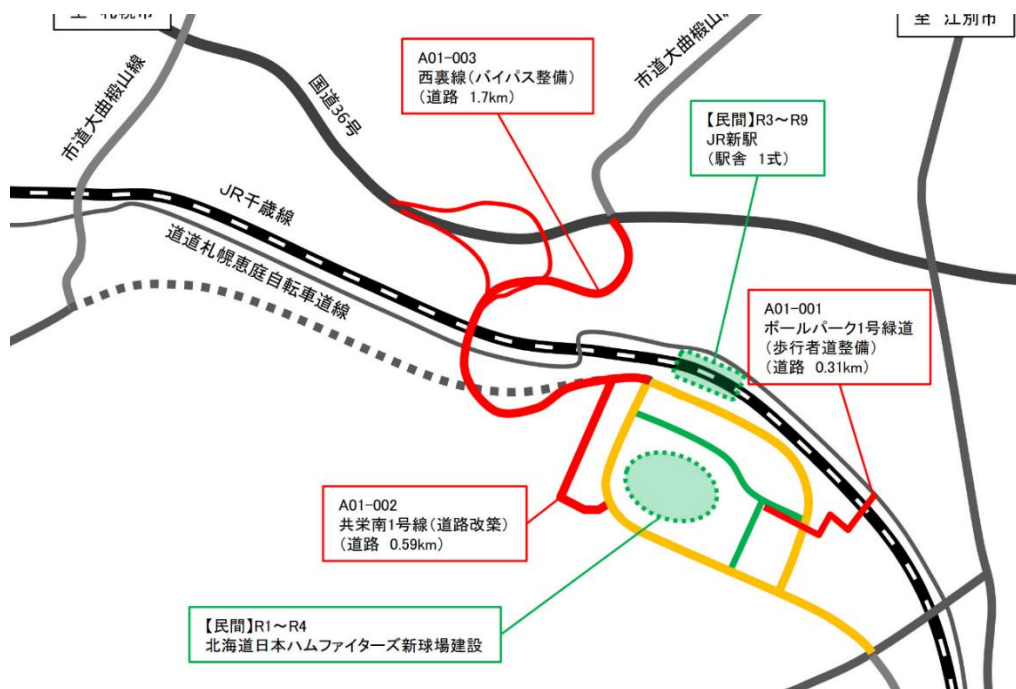
問 3. 次の図（4 ページには拡大図を掲載）は、2023 年に北広島市にできたボールパークのイメージ図です。このボールパークによって期待できる地域活性化にはどのようなことがあるか考えて書きなさい。



問 4. 部活動の地域移行とは、これまで学校教員が担ってきた部活動の指導を、地域団体や関係事業に担ってもらうことで地域の活動に位置づけることを指します。こうした取り組みを国は「地域部活動」と呼んでいます。地域部活動に賛成か、反対かのどちらかを示したうえで、その理由を具体的に想定される事例をあげて書きなさい。

問 5. 北海道スポーツ推進条例の前文では、スポーツの「する」「みる」「ささえる」に加えて「しる」ことを柱に上げています。それでは、「スポーツをしる」とはどのようなことなのか、具体例を取り上げてあなたの考えを書きなさい。

問 3 で掲載した図の拡大図



北広島市「社会資本総合整備計画（ストック効果をも高めるアクセス道路の整備）」より

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/files/00139900/00139956/20210128165833.pdf>



北広島市「北海道日本ハムファイターズボールパーク用地に関する提案書」より

https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/files/00126400/00126407/teiansyo_kai.pdf

2024(令和6)年度
札幌大学編入学・転入学試験(2月)
スポーツ文化専攻

【出題意図】

スポーツ文化専攻での教育は、多様性ある社会をスポーツから構想し、活性化へと導く力を身につけることを目標にしています。

そこで、①基礎的な知識、②社会的関心、③課題内容を読み解く力、④課題に対する思考力、⑤自らの考えを論理的に表現する力を、総合的にみるため論述式で出題しています。

設問に共通した評価観点は次の通りです。

- ・課題内容を適切に読み取れているか
- ・自らの考えを導くための具体的な根拠を示しているか
- ・回答文を所定の分量に収めるとともに、適切な文章表現にしているか

設問ごとの出題意図は次の通りです。

問 1. 科学技術の進展とスポーツへの影響についての関心度と思考力をみる

問 2. 体罰についての理解度と思考力をみる

問 3. スタジアム・アリーナ改革やスポーツによる地域活性化についての関心度と思考力をみる

問 4. 部活動の地域移行についての関心度と思考力をみる

問 5. スポーツを学ぶことへの想像力と理解度をみる